

この度は、第3回目となるスペイン日本語劇コンクールが開催されますことに心からお祝い申し上げます。本件の開催のためにご尽力されてきたスペイン日本語教師会の皆様、特に、鈴木裕子先生率いる語劇実行委員会の皆様に感謝と敬意を表します。

日本語劇コンクールの開催は今回で3回目となりますが、このような取り組みを通じて、スペインにおける日本語熱は年々高まっていると伺っております。単に「日本語学習」といっても、その方法や目的には様々な形がありますが、その中でも語劇という学習方法は、身振り手振りしながら台本を何度も繰り返し、文字通り体で日本語を覚えられるという点で、非常に効果的な方法だと思います。また、机上では得られない、日本語を使って仲間とひとつのものを上げる喜びを、存分に感じられる取り組みだと思います。本日は、先生方の熱意のこもったご指導の下で学生の皆さんが重ねてこられた練習の成果が、舞台の上で存分に発揮されるよう祈念しております。

本年は日本とスペインが外交関係を樹立して150年という記念の年です。この語劇コンクールも150周年の記念事業に登録されておりますが、二国間関係がこのように良好で友好的なものも、皆様が、日ごろから日本語教育を通して、日本ファン・親日家の育成のための基盤を形成してくださっているおかげです。こうした皆様の日々の活動に対し、心から感謝申し上げます。当館といたしましても、国際交流基金マドリード日本文化センターとともに、語劇をはじめとするスペイン日本語教師会の活動をできる限り支援させていただきたいと思っております。

最後に、第3回スペイン日本語劇コンクールの開催に携われた全ての関係者の皆様に感謝の意を表するとともに、このような事業を通じて、スペインにおける日本語教育がますます発展していくことを期待したいと思います。

駐スペイン日本国特命全権大使
水上正史